

# 市政を問う

## 24人が一般質問

一般質問は、質問順に記載する予定でしたが、写真があるところと、無いところがあり、紙面づくりの都合上、順序をかえております。

香月チエミ 議員



三日月町

小城市の合併を検証する

**問** 十月末新聞の特集記事で、小城市は九州の新しい自治体四十八中、最下位にランクされている。その分析と評価は。

**答** (市長) 合併効果を十分認識できない段階で評価された面がある。しかし、小城市の場合、すでに現状の効率性のレベルが高いということ、逆に大幅な変化が見込めない先行型の位置づけとなっている。いずれにしても今後の警鐘と受け止めていく。

その他、職員定数の削減と時間外勤務手当の増加、今年の国勢調査の経過・問題点などを質問しました。

南里 茂幸 議員



小城市

子育て支援対策は

**問** 現在は少子・高齢化と言われている。だんだん出生率が低くなり今では一・二九となっている。

**答** (市長) 市内の児童福祉関係などの代表八人に策定委員を委嘱し、委員会において小城市次世代育成支援地域行動計画を策定しております。計画に沿って少子化対策をする。

女性の社会進出や晩婚化などさまざまな要因で、子供を産みたくても産めない人もおり、市においての独自の子育て支援策は。

高木 一敏 議員



小城市

「事業仕分け」による行財政の効率化を

**問** 国が発行している国債の残高は、今年度末で約五百三十八兆円の見込みで、国民一人

当たり五百万円程度の債務を負う事になる。小泉内閣は、財政を健全化させるために、歳出の削減や税制改革、地方交付税の削減が議論され、徹底した効率化にあると言われている。

どんな組織で事業の仕分けをやるのか、また職員数については住民千人当たり、旧三日月町で七人、小城市では八人で仕事をしていたが小城市になって九人で仕事をして

いる事になる。どう考えているのか。

現在は分庁方式であるため色々な面で不都合があると思うが、本庁方式はどう考えているのか。

**答** (市長)

財政的に大変厳しいと認識している。行政改革推進委員会を設置した。目標を持って職員削減に取り組む。本庁方式への移行は、来年度に審議会を立ち上げる。

上瀧 政登 議員



牛津町

合併力を問う

**問** 小城市合併によって行財政の改革は順調に進んでいるのか。歳出の削減、債務の増減、職員の削減、地方債

の残、公共料金の値下げ等が真剣に検討されているのか。また、行政検証制度が導入されようとしているのか。

**答** (市長)

小城市行政改革大綱を本年度中に策定します。効率的な行財政の運営をめざし職員の管理適正化計画や事務事業の民間委託など行い、合併の課題や問題の早期解決を推進します。合併の効果

を出してサービスの向上を図ります。また平成十八年度中に総合計画を策定し、その計画に基づいて小城市のまちづくりを短期、中長期にわたって方向性を間違えないように職員一丸となって頑張っています。行政の検証制度も導入し、効率化を図っていきます。

市丸 典夫 議員



小城町

桜名所百選小城公園について

問 小城町を観光ゾーンとして位置づけをされている市長に問う。

全国百選の中で、清水、

ホタル、小城公園、江里山の棚田がある。

この観光資源、宝ものをどう守り、活用していくのか。

答 (市長)

資源を活かした観光の商品パッケージ作りが必要だ。地域にとっていかに経済的な効果があるかということも考えなくてはならない。九州の小京都と言われる城下町として、残すべきところは残し、また整備すべき

金原 修光 議員



小城町

小城市での幹線道路の整備計画は

問 ①旧町間を結ぶ市内既存道路の整備改良を年次計画で進めよ。

②新庁舎建設に約四十億

円と試算されているが、民間のノウハウが期待できるPFI方式の導入を考えるべきでは。

③公約の実現には財源がある。見直しは。

答 (市長)

①県道整備については、県に陳情していく。市内の道路網は、整備計画を策定し整備していく。

②本庁舎建設は、複合的な庁舎やPFI方式など研究したい。

ところは整備をしていく。



▶江里山の棚田

③公約のふる里づくり四十九の着手は、財源の問題もあり見直しは必要と思う。

問 小城町下水道事業の終末処理場の現状は。

答 (市長)

建設予定地での説明会は行ったが、現時点では同意は得られていない。今後、地域の活性化振興を示し、全力を尽くす。

深川 高志 議員



牛津町

牛津保育所の土地借地問題と今後の課題

問 牛津保育所の土地借地問題と今後の課題として、保育所の土地借地問題を考えるとき

に、今後の保育所の運営方針が重要な要因とな

てくる。将来的には、現在の土地で保育所運営を行っていくのか、また、砥川保育所と統合という考えもあるが直営か民営か、今後の保育所の運営方針を。

答 (市長)

統合モデル事業評価委員会で議論されている親の就労の有無や形態などで区別する事なく就学前の子供に幼児教育、

大坪 徳廣 議員



三日月町

石木交差点改良はいつになるか

問 石木交差点改良工事の早期完成を。

代替地等の問題で

進展していない。市としても中央部の重要な交差点と考えている。地元、地権者のご理解、ご協力のもと県と連携を図り早期完成に向け努力していく。

答 (市長)

佐賀西部広域農道の県道昇格は。平成十年度より県道昇格の要望を関係市長の首長が連携して県議会等へ出している。今年八

保育の機会を提供する機能を備える総合モデル事業が、平成十八年から本格実施される。市としても、今後この制度も含め研究していく必要がある。土地借地については平成十八年度は、期間を一年間とし借地契約をお願いする。今後、市営住宅も同一敷地で借地となつていくことから、問題解決をするための議論をしていかなければと思つている。

月、女山峠トンネル化促進懇談会を立ち上げ、この中でも県道昇格を目指したい。

問 事故防止に係る附設作業道設置を。

答 (市長)

農道としての許容量を超える交通量の増加に伴い、県道昇格を強く要望する中でも、安全確保の面からも市として強く要望したい。

田中 達美 議員



芦刈町

天山区塵芥処理場の今後について

問 現在の塵芥処理場も昭和五十六年竣工以来二十六年間稼働し、施設も相当老朽化し

機能が低下している現状でいつまで稼働できるのか予想がつかない状態と聞いております。そこで早急に天山多久地区広域清掃センター建設に取り組む必要があると思えますが考えはどうか。

答 (市長)

天山区塵芥処理場も施設の老朽化による維持補修費等がかなりの負担となっています。そこで平成十六年度に小城郡四町、多久市、久

保田町と建設促進協議会を立ちあげ、天山多久地区広域塵芥処理場基本計画を策定しておりますが合併等諸事情で一回は白紙になり遅れているのが現実です。今後建設用地の候補地選定、環境調査等が必要になってくるのでまずは多久市、小城市、久保田町との協議会の再開、また県の方にその旨を伝え、協力を願います。

中島 隆浩 議員



芦刈町

義務教育費国庫負担制度を守れ

問 憲法で保障された義務教育の機会均等、水準の維持、更に無償制を維持するために現

行の国と地方が仲よく折半して負担し合う仕組みが最適と思うし、それによって子ども達に安心して義務教育を無償で受けてもらうことができる。現行の国庫負担制度は絶対に必要なと確信するが市長、並びに教育長の想いは。

答 (今村教育長)

財政的に豊かでない県はどうなるか心配もあり、教職員の質の確保が教育に及ぼす影響が大きいことは論をまたず、教育長の立場からは、これからも税源移譲でなく国庫負担制度は維持すべきとの想いを持っている。

答 (市長)

見直して地方に権限と財源移譲すべきと考えている。

松尾 義幸 議員



牛津町

石工の里ウォーキングコースの整備を

問 最近石工の里のウォーキングに参加する団体や個人が増えています。「花むら」

の上にある権現山展望台からグリーンパーク下のアクセス道路間は一人がやっと通れる石ころだらけのコースの整備について質問いたします。

答 (今村教育長)

石がごろごろ出たりしているところについては修復をしながら整備を検討していきます。

江島佐知子 議員



小城市

小城市全体で子育て支援を

問 ①「次世代育成支援地域行動計画」での小城市の独自性は、

②各地での活動の連携が

必要では。③安全への取り組みは。

答 (市長)

①ガイドブックの作成や乳幼児健診後のフォロー教室の実施を予定。②市内外の情報収集、共有に努める。

答 (今村教育長)

③集団下校やPTAや地域団体とのタイアップを考えている。

問

①放課後児童クラブの長期休暇での反省点と今後の取り組み

答 (市長)

①指導員の方は大変だった。指導員の方の声を今後活かしたい。②保護者会などの必要性は感じている。③縦割りではなく、連携が取れるよう検討していく。

その他、「鳥インフルエンザ対策」「小城市の防災対策」について質問しました。

▶石ころがごろごろ



この他に牛津中の学校給食実施にむけて就学前の医療費完全無料化の実現について質問をしました。

副島 孝之 議員



牛津町

アイルの余剰温泉水の活用は

①館内飲用設備は。②飲料水の商品化は。③新湯注入率の改善は。④市民病院と連携に

よる温泉治療法は。

答 (市長)

①県の許可や管理面が厳しく、現状のまま。②計画はしていない。③湯量に限界がある。④市民病院は急性期病院であり、採用できない。

学校二学期制導入は

市内小・中学校の二学期制導入①メリット・デメリットは②小・中学校の違いは③今

後市内の学校での導入は

(問①②の答弁は割愛)

答 (今村教育長)

③非常に大事なことなので、流れを十分に検証し、学校現場と共に研修を重ね対応していきたい。

答 (市長)

日本古来の教育としての三学期制を十分検討し教育委員会・学校などの判断を尊重し取り組みたい。

小川 幸男 議員



牛津町

企業誘致で活性化を

公約のとおり企業三社以上の誘致、地元雇用を千人以上の創出は可能か。また旧四町には企業誘致をする工業

造成団地はないが、既存の牛津工業団地の周辺は

立地条件も整い環境もよく拡張を図れば、最適地と考えるが、いかがか。

答 (市長)

企業誘致は地域の経済の活性化に大きく寄与すると思う。市では工業団地用としての用地は確保してないのが現状である。大きな企業の誘致だけでなく佐賀市内等で手狭になった企業等を当

市に誘致し雇用の増大を図りたい。来年度から、企業誘致係を設置し色々な情報収集に努め実現に向け努力する。整備されている牛津工業団地周辺が候補地として考えられると思うている。



▲牛津工業団地周辺

真子 輝雄 議員



小城町

小城中東側の道路を広げて

小城中学校東側の道路は学校建設のため、南門、部室南の入口は通行できない。隣接

して市民病院、近くにスーパードもあって、混雑し、危険な状態になっている。

グラウンドと道路の間に段差もあり、桜並木を切ることなく、直に上る工法を利用すれば1m50位の歩道ができる。

答 (市長)

桜並木の道で改良は大変難しい部分もある。県道改良とあわせて交差点改良を考えている。現状は歩道もなく、大

変狭くなっている。中学校改築に伴い、グラウンドの整備もあるの

でどう改良できるか、検討の余地がある。

その他の一般質問は

◎行政区の再編を求め

◎市民病院の移転と県立病院。

◎小城町下水道浄化センターの用地交渉。

◎国道二〇三号線バイパスと小城中北側県道の進捗状況は。

今村 昌幸 議員



小城町

消防行政を問う

佐賀広域消防局は平成十六年に小城北分署も完成して整備、充実が図られ消防に大きな期待がされた。しかし

十月十一日小城町での火災は、サイレンの吹鳴、放送も遅れ、また消防車と水利の位置の問題を含め期待した消火活動が不十分と住民の意見が多くある。構成自治体として原因究明を含めどのような対処をしたか。

答 (市長)

火災は一刻を争うもので地元消防団との連携などいろいろな苦情等が出ている。問題点を出し早く解決できるよう構成

市として意見を述べ改善を求める。

問 市民の身体、生命財産を守るという使命を果たすためには、広域による職員の移動、報知システム、地域の査察など早急な見直しを。

答 (市長)

消防車が現場へ遠回りするなど問題もある。放送の操作は、フロッピーチャートを作つて行うよう消防署と覚書きを結ぶ。

一ノ瀬次義 議員



牛津町

地域の経済を支える人口をどう維持するか

問 小城市の人口約四万七千人をどのように維持していくのか。

人口を増やす施策は。

答 (市長) 素晴らしい教育環境を整えることが大きな要因の一つになる。

子供自身が「この小城市を好きだ、誇りに思う」などの感情を育てることも、人口増加につながる。小城市の観光資源はたくさんあるので、情報発信に努めていきたい。また、スローライフ的な観点にたつて、地域づくり、まちづくりが必要と思っ

問 公務員を減らすだけではいけない。

人数が減った時、職員一人ひとりの能力と人材力を高めて、行政サービスが低下しないようにしないと、何のための財政改革かわからない。

答 (市長)

少数精鋭主義の公務員の育成が重要だ。それと共に、市民としての責任を果たす意義が、小城市づくりには大変重要であると思う。

南里和幸 議員



芦刈町

市民公募債について

問 来年から自治体は政府許可なしに地方債を発行できるように

なると。地方分権が進むなかで自己責任において資

金を集めるのは当然のことであり、資金の調達先を多様化しておくことが必要なこと。

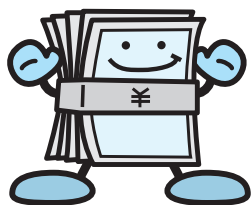
財政面での市民との連携は考えられないか。

答 (市長)

現在は地方債の借り入れ方法を取った方が、より計画的、安定的に資金計画が立てやすいので、公的資金や銀行からの縁故資金を活用している。しかし市民の関心、参画

を推進するためには、十分検討していきたい。

問 市民債の最大の効果は、市の借金への市民のコントロール効果もあるので検討すべきだ。



三根 實 議員



小城町

農家の関心は受益者負担

問 鉾害復旧田の再整備について十一月

二十二日、三里支館に於いて関係集落の区長及び

答 (市長)

生産組合長の皆さんを集めて説明会があった。関係者が一番関心があるのは、受益者負担の問題だ。整備を行った場合、その地域の環境もよい方に大きく変化をしている。農業関係の事業で、水路整備などそういった関係の補助率とかも加味して、受益者の負担率を出していくべきだ。

答 (市長)

地元の受益の部分



三里の鉾害復旧田

東内 健吾 議員



牛津町

牛津駅周辺整備を問う

問 牛津駅周辺整備などたずねたい。

答 (市長) ①駐輪場建設につ

いて、三百台程度の駐輪

を推進するためには、十分検討していきたい。

問 市民債の最大の効果は、市の借金への市民のコントロール効果もあるので検討すべきだ。

交差点にたまり場がなく危険なので検討している。

⑥駅歩道橋と駅南への道路と駐車場建設について、商店街の活性化と江北へ芦刈線へつながる道路としていますが事業費が大きいので休止している。

市の財政事情を考慮して精査しながら、優先的な事業を選択していく必要がある。

他に、町人会のあり方、行政サービス向上についての質問を行った。

明石 壽彦 議員



牛津町

下水道事業と水路整備について

問 供用開始されている地区でまだつなぎ込みをされていない家庭、事業所が相当あるが、

積極的に推進すべき、その対策は。

答 (市長) 投資効果、環境問題などを含めて水洗化率一〇〇%を目指すのが事業の目的、啓蒙啓発など説明をわかってもらいうよう努力する。

問 住宅地裏の水路は清掃がしづらく清

け整備すべきだ。

答 (市長) 草刈時の足場また

水草除去作業時の一時置場は必要なので、今後維持管理がしやすいように考慮しながら事業を進めていく。

問 牛津東部の圃場整備から約三十年になるが両岸の崩落がひどく水の流れが悪くなっている、護岸をすべきだ。

答 (市長) 地元要望を受け、国・県補助事業を取り組みながら、整備してまいります。

飯盛 祐輔 議員



芦刈町

人事評価システム導入の考えは

合併後効率的な行政運営のまちづくりのための、新たなシステム作りの計画は。

答 (市長・総務部長) 行政評価システムを平成二十年度には本格的に導入できる体制をとっていく。民間の良いところを取り入れるために交流をして、職員の意識改革を進めたい。

信賞必罰の人事制度の確立のための給与体系の構築の考えは。時間外勤務の命令、確認は的確になされているのか。また、倫理観、道徳観の啓蒙、涵養に努める考えは。

問 小学校において学級崩壊は起きていないのか

答 (今村教育長) 問題が小さな内に解決している。障害児は六%おり、十五名の生活介助員で当たっている。

問 小城市の現状と障害児童への対応は。開かれた学校、また特色ある学校づくりについて、教職員の新人事評価システム導入の現状は。

問 豊かな自然に恵まれている小城市は、各農林漁業振興政策は施行されたが、衰退の一途ではないか。見通しは。

北島 文孝 議員



小城市

十八年度予算編成は

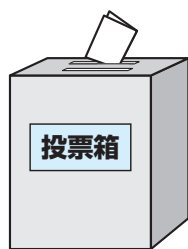
問 きびしい財政事情の中でどのような方針を持って予算編成をするのか。

答 (市長) 将来を見通し持続可能な財政の確立に向け、徹底した財政収支の改善をし平成十八年度当初予算にのぞむ。

選挙管理は

問 小城市になって農業委員会、市長選挙、衆議院総選挙と三つの選挙があったが、トラブル等があったのかなかったのか、また、いわゆる

答 (持永選挙管理書長) 特にトラブルはなかった。また、持ち帰り票と認定した票数は総選挙の比例代表で一票、最高裁判所裁判官国民審査の票で二票あった。



下村 仁司 議員



芦刈町

答 (市長) 戦後の農政を根本から見直す農政改革を市農政として、理解を得て行きたい。

問 今回の改革は、一定規模以上の認定農家と集落営農組織のみを対象に考えられており、このままでは集落そのものが崩壊の危機にある。農業者が安心して生活できるよう行政の強力なリーダーシップを発揮すべきではないか。

答 (市長) 今回の農政改革の中で、行政として取り組むべきことがどういふものなのか、不透明な部分が多い。行政、農業団体及び農業者が連携を取りながら、地域農業を守るためにはどうすればいいのか検証していく。そのため、国・県の情報収集に努め、関係各位と協議しながら、当市の農業施策の方向性を示すようにしたい。